



平成13年2月15日
日本原子力発電株式会社

敦賀発電所1号機の原子炉起動と調整運転開始について

当社、敦賀発電所1号機(沸騰水型軽水炉:定格出力35万7千kW)は、当初2月9日に原子炉を起動する予定でしたが、起動準備中の2月9日午後、原子炉再循環ポンプC号機で異音が認められたため、原子炉起動を延期して原因の調査を行ないました。調査の結果、異音はモーター軸の金属性腐食痕によるものと推定されたことから、当該部の手入れを行なった後、当該ポンプの試運転を行ない、異常のないことが確認出来たため、本日20時頃に原子炉を起動し、臨界とする予定です。(内容については2月14日発表済)

また、今後は諸試験を実施し、2月18日～21日頃(*)に定期検査の最終段階である調整運転を開始し、3月中旬には経済産業省の最終検査を受けて営業運転を再開する予定です。

*調整運転開始日は、タービンバランシング作業(調整運転開始前にタービン発電機の回転数を上昇させてタービン車軸の振動を測定し、振動が管理値より高い場合はタービン車軸にバランスウエイトを取り付け振動を小さくする作業)の実施の有無により変わります。

以上